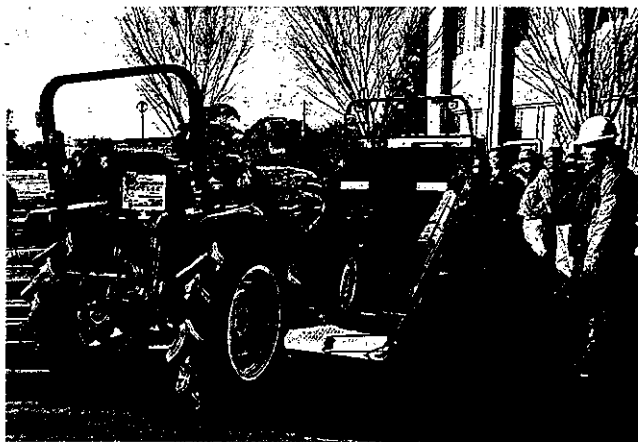


# トラクター盗許すな

## 農業大学校で対策研修会

県内で多発する農業用トラクター盗難への対策を学ぶ研修会が十六日、岡崎市美合町の県立農業大学校で開かれた。県警によると、昨年一年間に県内で三十七台が被害に遭い、今年に入ってからも既に五台が盗まれている。研修会は事態を重く見た県が企画し、県内から集まった農業関係者ら百四十人が、県警やJAあいちの担当者らの説明に耳を傾けた。

「田畑にトラクターを置いたままにせず、必ず倉庫に保管して」「犯人グループは必ず現場を下見するので、不審者がいたら通報を」。県警担当者らが呼び掛けた。県内のトラクター盗難は特に西三河地方で



トラックに載せて盗もうとすると作動する警報機の実演＝岡崎市美合町の県立農業大学校で

スもあり、多くのトラクターで乗用車のような盗難被害が想定されていたことが、この背景にあるとされる。構内の広場では、防犯器具の実演もあった。鍵が共通になっている機種が多く、狙われやすいことから、JAあいちや農機具メーカーの担当者は①頑丈なハンドルロック②左右のホイールの間に金属の棒を渡して動かない③するタイヤロック④振動を感知すると大きな音を出す警報機⑤など、複数の対策を講じるよう促した。高級乗用車に多く採用されている高い防犯性の電子キー「イモビライザー」を付けるといったことも効果的という。参加者たちは「盗難

対策の必要性を痛感した」と口をそろえた。昨年十一月、倉庫外に置いていた発電機が盗まれたという新城市の農家夏目昭彦さん(金巴)は「今は所有するトラクター四台すべてにGPS(衛星利用測位システム)装置を取り付けている」と話し、危機感を口にした。(辻紗貴子)

# 可能な限り対策を

## 愛知で農機盗難 防犯器具の実演も 防止研修会

愛知県は16日、各地で相次いで発生している農機盗難を食い止めようと、岡崎市の県立農業大

0人が参加した。同県内では、昨年1年間、トラクター37台が盗難に遭い被害届が出ている。今年に入ってから盗難事件が2件発生、5台が盗まれ、農家を不安にさせている。三重県では昨年は52台、岐阜県は22台が盗まれた。

も含まれていたことから「犯人は必ず下見に来る。日本人でも怪しいと思ったら、すぐ警察に連絡してほしい」と呼び掛けた。農家に対し、農機は倉庫に格納して鍵を別に保管するといった基本的な対策と併せ、ライトなどの防犯器具の活用を求めた。

すき間に鉄棒をさし込んでロックする防犯器具「相棒Ⅱ」を紹介。実際にトラクターに取り付け、効果を確認した。東海クボタ(三重県四日市市)などは、盗んだトラクターを運搬する際、ワイヤーなどで引っ張り車体が傾いた時、警報が鳴る「まもる君」を実演。佐用自動車(兵庫

い「沈黙の鉄人」を紹介した。JA共済連愛知は農機盗難を保障するJA自動車共済を、県農業共



「相棒Ⅱ」の使い方を紹介するあいち経済連の相川課長(左から2人目) (16日、愛知県岡崎市で)

済組合連合会は農機共

済について説明した。研修会には、実際に盗難被害に遭った農家男性も参加、「研修会は1回だけでなく何度も開いてほしい」という声が出た。